みんぱくリポジトリ
国立民族学博物館学術情報リポジトリ National Museum of Ethnolo

衣類と繊維製品

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2009-04-28 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 相川, 佳予子 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.15021/00001438

横川公子・笹原亮二編『モノに見る生活文化とその時代に関する研究』
国立民族学博物館調査報告　68:55−60(2007)

5.　特徴的なモノの概要

衣類と繊維製品

相川　佳予子

1　コレクションの衣服類

大村コレクション約1万5千件の中に大量の衣料品がある。それらは便宜上「衣服類」に分類されているが内容は多様で，完形の衣類のほかに，帽子，手袋，靴下などの被服類や，服飾雑貨，寝具類，さらには室内装飾用の繊維製品もふくまれている。そこで資料の概要を把握するために以下の分類を行った。

まず，資料の内容から「衣類」と「布帛類」および「布団類」に大別し，「衣類」はさらに①洋服および関連品，②和服および関連品として，それぞれを女物，男物，子供物に分類した。「布帛類」は資料中にみられる大量の布地で，和服地関連のものが約半数を占め，他は服飾雑貨，寝具，室内装飾用の布地である。分類結果の大略は以下の通りである。

2　衣類の分類

表1-1，表1-2参照。

① 洋服および関連品

女物　　28項目　267件

ワンピース，ブラウス・ポロシャツ，セーター・カーディガン，下着類，手袋，靴下，ストッキング，マフラー・スカーフなど。

男物　　12項目　46件

ジャケット，ズボン，ネクタイなど。

② 和服および関連品

女物　　32項目　589件

袷長着，単長着（浴衣を含む），袷羽織，単羽織，袖無し羽織，帯，コート，長襦袢，ショール，半襟，帯締め，羽織紐，足袋，下着各種，前掛け，割烹着など。

男物　　20項目　102件

袷長着，単長着，袷羽織，単羽織，袴，帯，仕事着，前掛け，宗教服など。

子供物　　9項目　13件

女児中裁単長着，男児中裁浴衣，男児兵児帯，しごきなど。

表 1-1　衣類の分類

		資料名	数量（件）	備考
洋服及び関連品	女物	ツーピース	3	
		ワンピース	33	和服地の更生品 12 を含む
		ジャケット	5	
		スカート	4	
		ズボン	9	
		ブラウス　ポロシャツ	11	
		防寒ケープ　半コート	2	半コートは編み物
		エプロン　前かけ	1	
		チョッキ	3	
		セーター　カーディガン	16	セーター 4
		T シャツ	7	
		ジャージ（トレーナー）上衣	7	
		ジャージ（トレーナー）下衣	9	
		パジャマ　ネグリジェ	9	ネグリジェ 3
		下着（上衣）	15	
		下着（下衣）	11	
		シュミーズ　スリップ	5	
		ショーツ	34	
		靴下　足カバー　軍足	22	足カバー 4　軍足 4
		ストッキング	16	
		マフラー　スカーフ　ネッカチーフ	14	
		手袋	12	
		ベルト	2	
		サポーター　コルセット	11	コルセット 1
		バスローブ	2	
		スモック	1	
		ボレロ	1	
		帽子（ベレー帽）	2	
	男物	ジャケット	2	
		ズボン	14	
		シャツ	4	
		下着（上衣）	6	
		下着（下衣）	3	
		白衣	3	
		ネクタイ（ループタイ含む）	8	
		鳥打ち帽子	1	
		ブリーフ	1	
		ソックス	1	
		手袋　軍手	2	軍手 1
		ベルト	1	

3　布帛類の分類

表 2-1，表 2-2 参照。

① 洋服地　　5 項目　182 件

未使用のもの，見本生地を主とし，多くの端切れを含む。

② 和服地　　28 項目　779 件

未使用の反物 25 点のほかはすべて使用済みもので種類は以下のとおりである。

- 和服 1 枚分の表地　男物および女物の長着，羽織，襦袢地
- 女物裏地　胴裏，八卦，肩裏，居敷当て，肩当て，袖口布
- 男物裏地　胴裏，肩裏，袖口布
- 表地，裏地の一部が不足しているもの，裾よけ，見本生地，帯地，帯芯，

表 1-2

		資料名	数量（件）	備考
和服及び関連品	女物	袷長着	20	
		単長着（浴衣含む）	49	
		袷羽織	15	
		単羽織	7	内編み物 1
		二部式着物	3	別に下衣のみ 2
		作務衣	5	
		ひっぱり	15	
		コート	13	
		長襦袢	10	
		半襦袢	4	
		肌襦袢	22	
		裾よけ	25	
		帯	50	内しごき帯 2
		もんぺ	8	
		袖無し羽織	8	内編み物 2
		和装下着（上衣）	4	
		和装下着（下衣）	17	
		前掛け　割烹着	38	
		寝間着	2	
		はんてん	3	
		腹巻き	1	
		ショール	17	
		帯揚げ	3	
		帯締め	40	
		羽織紐	33	
		半襟（掛け衿も含む）	92	
		足袋　タビックス	52	タビックス 7，足袋は別珍，メリヤス各 6，ストレッチ 1
		腰紐（伊達締めも含む）	19	
		帯枕	7	
		帯板	5	
		頭巾	1	
		長襦袢の衿用簡易衿	1	
	男物	袷長着	5	
		単長着	7	
		袷羽織	5	
		単羽織	2	
		長襦袢	4	
		半襦袢	3	
		コート	2	内トンビ 1
		袴	3	
		帯	17	
		寝間着	2	
		はんてん	1	
		参詣修験用衣服	9	
		祭用衣服	3	
		仕事着（上衣）	10	
		仕事着（下衣）	3	
		胴巻	1	
		前掛け	11	
		半襟（掛け衿も含む）	6	
		羽織紐	2	
		足袋	6	
	子供物	女児中裁単長着	3	
		男児中裁浴衣	1	
		子供用羽織	1	
		子供用はんてん	1	
		子供用裾よけ	1	
		浴衣のひも	3	
		羽織紐	1	
		男児兵児帯	1	
		しごき	1	

表 2-1　布帛類の分類

	資料名		数量（件）	備考
洋服地	洋服地（未使用）		26	
	洋服地（使用済み）		6	
	洋服地見本生地		45	
	洋服地端切れ		105	
和服地	和服地反物（未使用）		25	
	和服一枚分の表地（使用済み）	女物長着	23	
		男物長着	6	
		女物羽織	9	
		男物羽織	0	
		女物襦袢	2	
		男物襦袢	1	
	和服地女物裏地（使用済み）	胴裏	19	
		八卦	25	
		羽織　コート肩裏	8	
		居敷当て	8	
		肩当て	10	
		袖口布	21	別に片方のみ 3
	和服地男物裏地（使用済み）	長着	9	
		羽織（肩裏）	2	
		袖口布	4	
	女物和服表地（一部欠）		23	
	男物和服表地（一部欠）		12	
	女物和服裏地（一部欠）		14	
	男物和服裏地（一部欠）		3	
	裾よけの生地		7	
	肌襦袢の袖		5	
	和服地見本生地		43	
	反物の織りだし部分		17	
	帯地		9	
	帯芯		4	
	衿芯		4	
	和服地端切れ		466	
子供用和服地	女児中裁表地		5	
	女児中裁表地（一部欠）		4	
	女児中裁裏地		7	
	女児中裁裏地（一部欠）		1	
	女児中裁八卦		1	
	女児中裁長襦袢裏地（一部欠）		1	
	女児中裁用衿，肩当て，衿裏		3	1 点ずつ
	男児中裁帷子地		1	
	一つ身用裏地		4	
	一つ身用表地（一部欠）		1	
	一つ身用裏地（一部欠）		3	
	子供用はんてん表地		1	
	子供用羽織表地		1	

表 2-2

	資料名	数量（件）	備考
室内装飾類	のれん	25	
	カーテン	3	
	テーブルセンター	19	
	コースター	11	
	ランチョンマット	3	
	テーブルクロス	3	
	クッションカバー	1	
	炬燵布団カバー	1	
	座布団カバー	7	
	座布団の側	6	
寝具類	布団カバー	6	
	枕カバー	9	
	シーツ	18	
	タオルケット	1	
	掛け布団の鏡地	17	
	掛け布団の側	13	
	敷き布団の側	8	
	布団を包む大風呂敷	8	
服飾雑貨	風呂敷	66	
	袱紗	13	
	タオル	19	
	ハンドタオル	7	
	バスタオル	6	
	手拭い	182	
	ハンカチ	117	
	眼鏡拭き	3	
	手絡	8	
その他	布巾	26	
	布巾地	1	
	晒し布	5	未使用一疋含む
	ガーゼ	1	
	包帯	7	

襟芯など。

このほかに大量の和服地端切れがある。

③ 子供用和服地　　13 項目　33 件

女児用中裁長着の表地，裏地，八卦などを主とし，一つ身用もある。

④ 服飾雑貨　　9 項目　421 件

風呂敷，袱紗，各種タオル，手拭い，ハンカチなど。

⑤ 寝具類　　8 項目　80 件

掛布団の鏡地，掛布団，敷布団の側，シーツなど。

⑥ 室内装飾類　　10 項目　79 件

のれん，カーテン，テーブルセンター，コースター，座布団カバーなど。

⑦ その他　　5 項目　40 件
布巾，晒し布など。

4　布団類の分類

布団類の分類は，表 3 に示した通りである。

表 3　布団類の分類

資料名	数量（件）	備考
掛け布団	5	
敷布団	6	
肌掛け布団	5	
座布団	41	内カバー付き 4
炬燵布団	5	
毛布	9	

5　資料の特徴

上記のように分類した結果は「衣類」101 項目，1017 件，「布帛類」78 項目，1614 件であった。洋服関連の資料は父の遺品としげが使用したものであり，後者はその多くがしげの晩年（発病後）のものと思われる。注目されるのは和服を更生したワンピース 12 着で，遺された写真からもとの和服を知ることのできるものもある。裏地にも絹の胴裏が使われており，現在の“和服をリフォームしたドレス”などとはかなり趣を異にしている（詳しくは本書所収の林論文を参照されたい）。「布帛類」では和服地関連のものが多く遺されているが，これは著作の中で述べられている祖母，母，しげの着物に対する想いを伝える資料ということができる。風呂敷，手拭いには記念品や贈答品が多い。祇園の舞子や芸妓の名が染め抜かれた手拭いは父の仕事とのかかわりによるものであろう。